情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2025 年 7 月 9 日作成

研究課題名	人工知能（AI）アルゴリズムを用いた人工股関節全置換術後における骨盤傾斜および大腿骨回旋の予測による最適なインプラント設置に関する研究
研究の対象	当院で 2007 年 1 月から 2018 年 12 月までの間に人工股関節全置換術を受け、1 年以上通院されている患者さんを対象とします。
研究目的・方法	当院で施行した人工股関節全置換術の術後骨盤傾斜や大腿骨回旋を術前の情報から人工知能を用いて予測し、最適な人工関節の設置角度との関係を調べ、手術手技の向上を目指します。手術前後で撮影したレントゲン、CT を含めた画像データ、血液検査データ、診療録(カルテ)から得られたデータを人工知能を用いて網羅的に解析します。AI によるデータ解析、機械学習は理化学研究所で行います。
研究期間	西暦 2018 年 11 月 14 日～　西暦 2028 年 3 月 14 日
研究に用いる試料・情報の種類	手術前後で撮影したレントゲン、CT を含めた画像データ、血液検査データ、診療録(カルテ)を使用します。
外部への試料・情報の提供	上記に記載した全ての情報を個人が特定できない情報に加工し、原則として郵送あるいは手渡しのいずれかの方法で理化学研究所生命医科学研究センター（IMS）予測医学特別プロジェクト及び光量子工学研究センターに提出します。 なお、研究対象者の個人情報は、横浜市立大学附属病院の臨床研究に関する個人情報等の取扱いに関する手順書に従い、横浜市立大学附属病院で保管・管理します。少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、個人情報の保護に留意し厳重に管理します。保管期間経過後、本研究に関する文書及び記録を廃棄する場合、横浜市立大学附属病院及び理化学研究所共に保有する紙面上のデータはシュレッダーで、電子データは物理的に再生不可能な形にして廃棄します。
研究組織	・　横浜市立大学公立大学法人　横浜市立大学附属病院　整形外科　稲葉　裕 ・　理化学研究所　生命医科学研究センター（IMS） 予測医学特別プロジェクト 医療データ数理推論特別チーム チームディレクター　川上　英良 ・　理化学研究所　光量子工学研究センター 画像情報処理研究チーム チームディレクター 生命医科学研究センター（IMS） 予測医学特別プロジェクト プロジェクトディレクター代理　横田秀夫

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9
横浜市立大学附属病院　整形外科　（研究責任者）稲葉　裕
電話番号：045－787-2800（代表）　　FAX：045－781－7922